

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10040030

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17 上・下水道の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 水道の安定供給	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	簡易水道事業管路漏水調査事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担 当 課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関 係 課	#N/A	
事業指標	有収率向上		#N/A	
事業目標	55,000m	ハ-ド/ソ-フ 事業区分	1 ハ-ド事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	雄武簡易水道給配水管路漏水調査業務により、有収率向上を図るため実施するものです。	・雄武簡易水道給配水管 漏水調査業務 L=13,000m	・沢木・幌内簡易水道配水管 漏水調査業務 L=13,000m	・雄武町簡易水道配水管 漏水調査業務 L=9,000m	・雄武町簡易水道配水管 漏水調査業務 L=10,000m	・雄武町簡易水道配水管 漏水調査業務 L=10,000m	
	事業費(千円)	6,616	1,300	1,540	1,176	1,300	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	6,616	1,300	1,540	1,176	1,300		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,529	1,239	1,210	1,080	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	3,529	1,239	1,210	1,080			
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 雄武地区簡易水道給配水管 漏水調査業務 L=13,000m	(実施内容等) 沢木・幌内地区簡易水道漏水 調査業務 L=12,130m	(実施内容等) 幌内地区簡易水道漏水 調査業務 L=8,000m	(実施内容等)	(実施内容等)	
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	13,000m	13,000m	9,000m	10,000m	10,000m
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	95%	79%	92%	0%	0%
	全体達成率	19%	37%	53%	53%	53%	
	備考欄						

事業名	簡易水道事業管路漏水調査事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	水道係長	江田 一夫

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	漏水調査延長		
【抱える課題やニーズは】	給配水管破裂事故による断水		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	漏水量の低減、破裂事故による断水の未然防止を図る。		① 漏水調査延長/漏水調査延長の実績	目標年度	平成27年度
				目標値	9,000 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安定供給の維持、強化を図る。		②	実績値	8,000 m
		達成度		88.9 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による委託の実施	見積により民間業者に発注し、漏水調査事業を行った。	目標年度	平成27年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0! %	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	漏水量の低減、安定供給維持のための業務は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	漏水が発見され修理できたことは、漏水量低減が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	見積により事業費が軽減されたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	漏水量が低減し、安定供給が維持されたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
水の安定供給のためには、今後も漏水量の把握に努め事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
水の安定供給のためには、継続現状維持が適当であると判断する。		

- ※展開方向の区分
 継続 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止